



5月24日(木)25日(金)26日(土) サテライト横浜カップ・報知新聞社杯争奪戦

外国勢がパワーで圧倒

5月24日から開催される川崎競輪はサテライト横浜C報知新聞社杯として開催されるナイターのF1。

S級戦では外国人選手の2人が参戦する。ウエプスター(ニュージーランド)とバベク(チエゴ)は共に競技で活躍する世界レベルの脚力を持つ。シリーズの中心となることは間違いないだろう。地元山田幸司(神奈川78期)や川崎健次(神奈川88期)らは南関の機動型が少なく苦戦が強いられそうだが、外国勢と連係することでチャンスを見出すことが可能。厚さは北日本勢。五輪メダリストの伏見俊昭(福島75期)は、永沢剛(青森91期)や真船圭一郎(福島94期)らと好連係決めれば外国勢に太刀打ちできる。遠征勢の軸は近藤龍徳(愛知101期)。状態上向きでV争いも展開ひとつか。

A級戦は地元の長田祐弥(神奈川87期)をはじめ、高橋泰裕(千葉90期)、飯田憲司(静岡96期)、坂本健太郎(徳島98期)らを擁する南関ラインが中心となりそうだ。

S級主力選手

ウエプスター NZL



今シリーズの優勝候補として注目したいのがウエプスター。競技では主にチームプリントで実績を残している選手で、瞬発力とスピードは世界でも屈指。昨年に続いて2度目の来日となる。昨年は自転車も違う日本の競輪に戸惑いもあった様子だが、1度優勝もしており経験値を積んだ今年は大

暴れしような予感。初戦の大垣の初日予選こそ失敗したものの、続く玉野では完全優勝を達成。今年も早くも2場所目で結果を出して昨年の経験を生かした。京王閣のエボリレーションでは競技と同様のカーボンフレームも使用して発勝負を制した。競走間隔も程良く空いて参戦する今シリーズも期待できそう。バックを取る仕掛けが多いところウエプスターの特徴で、ラインを生かす競走を更に覚えていけば、まだまだ日本の競輪で活躍できるはず。同じく競技で活躍するバベクと共に世界の剛脚を披露してくれることだろう。

近藤 龍徳 愛知101期



日本人選手の中で点数上位となる近藤は確実に調子が上がっている。平塚タービーでは結果こそ出ていないが、「調子、だいぶいいですよ」とコメントしていたのが印象的だったが、続く西武園F1では2勝を挙げる。特筆すべきは初日特選で、目標の伊藤裕貴(三重100期)が苦しいと見ると最終バック8番手あたりから内々へ替り込み、直線空いたコースを突き抜けた。外から迫る原田研太郎(徳島98期)に踏み勝つての1着ゴール。鋭い差脚と、俊敏な動きが好調時と大差ないとみていだろう。2014年のヤングGPを制し、翌年のサマーナイトF1で、近況は苦しい戦いが続いたものの、現状のデキなら上位戦で十分に戦えるはずだ。直線伸びる当所なら、多少苦しい展開でも好勝負に持ち込める。川崎バンクで「夜王」復活の大花火を打ち上げるか。

真船 圭一郎 福島94期



予選からの注目選手には真船圭一郎を挙げたい。昨年8月の平塚で好展開をモノにしてS級初優勝を達成して、その後は昨年末に負傷欠場もしていたが再び軌道に乗せている。もともと鋭いダッシュに定評はあり、カマンやまくりで大物食いをする場面もしばしばあったが、未脚の甘さがネックとなっていた。しかし、前々回の松戸F1では3日間逃げの決まり手を付けて2度目のS級優勝。33バンクでの結果とはいえず、本格化の兆しが見えてきた。前回地元戦の平では準決勝で敗退しているが、勢いあるルーキーの門田俊(愛媛111期)の積極策をホーム過ぎに叩き切つての5着。果敢に攻めた結果まくられはしたが、内容のあるレースだった。初日と最終日に連対は果たしておらず、状態は問題無い。日本勢が誇る五輪メダリストの伏見俊昭とタッグを組んで、海外のトップアスリート2人に挑戦する場面が見られるか？



A級主力選手 長田 祐弥 神奈川87期



前半6レースまではA級戦となる。地元の中軸となるのは長田祐弥だろう。今シリーズは欠場明けとなるが、復帰への準備はできている様子。7月から始まる来期にはS級へのカムバックが決まっているだけに、この地元戦は弾みをつけるには格好の舞台。この人の魅力はグイッと伸びるキメ脚。仮に目標が不発の場面があっても、外々を踏めるだけの脚力は十分にあるし、混戦になったとしてもコース取りはうまく、目標に離れるケースも少なく、展開さえ向ければ連日アタマから狙える。本人も「川崎のバンクは苦手じゃないです。成績もいいほうだと思います」と語る通り、直線で伸びるこのバンクは持ち味を生かせる。飯田憲司や坂本健太郎といった好目標が揃う今シリーズはチャンスも多いはず。優勝からは遠ざかっているだけに、この地元戦での活躍に期待したい。

高橋 泰裕 埼玉107期



予選スタートからの注目選手は高橋泰裕。今期2班の格付けではあるが、優勝候補の角として評価できる選手だ。デビュー当初は逃げては未だ欠きの線り返しで出世も遅れていたが、持ち味を生かすまくり、カマン主体の攻めでS級の点数を確保できるかどうかがこの日まで来た。年齢的に1速のデビューではあったが、着実にレベルアップしている。踏み出しの鋭さは抜群で、上位選手でも離れることはしばしば。まくりの決まり手が中心だが、いままで逃げ続けられてきた土台もある。レースが緩み、昨年の11月に当所に参加した時は予選の1勝のみだったが、連日動いていた印象はありバンクの相性も悪く無さそう。S級の点数を確保するには、この川崎をはじめ今期の終盤戦が正念場となりそう。予選はもうそろそろ準決勝決勝に駒を進めても頭から流して狙つてみたい。

URBAN BANK かわさきケイリン

| 予想氏 | 山田 幸司 | 近藤 龍徳 | 伏見 俊昭 | ウエプスター | 佐伯 辰哉 | バベク | 坂本健太郎 | 真船圭一郎 | 阿部 大樹 |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 府県 | 神奈川 | 愛知 | 福島 | NZL | 広島 | CZE | 福岡 | 福島 | 埼玉 |
| 期別 | 78 | 101 | 101 | ... | 109 | ... | 86 | 94 | 94 |
| 級別 | S1 | S1 | S1 | S1 | S2 | S2 | S1 | S1 | S1 |
| 1着 | 4回 | 5回 | 2回 | 5回 | 7回 | 2回 | 3回 | 8回 | 1回 |
| 2着 | 1回 | 4回 | 1回 | 1回 | 3回 | 0回 | 8回 | 7回 | 5回 |
| 3着 | 2回 | 2回 | 2回 | 0回 | 0回 | 4回 | 4回 | 2回 | 9回 |
| 着外 | 19回 | 19回 | 11回 | 1回 | 10回 | 10回 | 16回 | 12回 | 13回 |
| 棄権 | 1回 | 1回 | 0回 | 0回 | 1回 | 0回 | 0回 | 0回 | 0回 |
| 失格 | 0回 | 0回 | 0回 | 0回 | 0回 | 0回 | 0回 | 0回 | 0回 |
| 出走回数 | 27回 | 31回 | 22回 | 7回 | 16回 | 0回 | 29回 | 28回 | 28回 |
| 勝率 | 14.80% | 16.10% | 12.50% | 71.40% | 31.80% | 33.30% | 9.60% | 27.50% | 3.50% |
| 連対率 | 18.50% | 29.00% | 18.70% | 85.70% | 45.40% | 33.30% | 35.40% | 51.70% | 21.40% |
| 3連対率 | 25.90% | 35.40% | 31.20% | 85.70% | 50.00% | 33.30% | 48.30% | 58.60% | 53.50% |
| H数 | 0回 | 0回 | 0回 | 4回 | 12回 | 3回 | 0回 | 13回 | 2回 |
| B数 | 0回 | 0回 | 0回 | 4回 | 12回 | 4回 | 2回 | 19回 | 2回 |
| 競走得点 | 101.26 | 107.50 | 107.31 | 107.71 | 104.57 | 99.50 | 104.77 | 104.44 | 105.35 |

決勝想定メンバー